

国際ロータリー 第2510地区
2007-2008年度

ガバナー月信

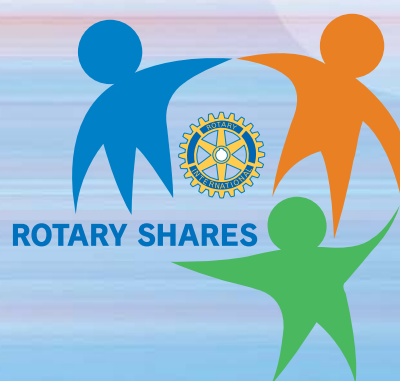
No.12
2008
6

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

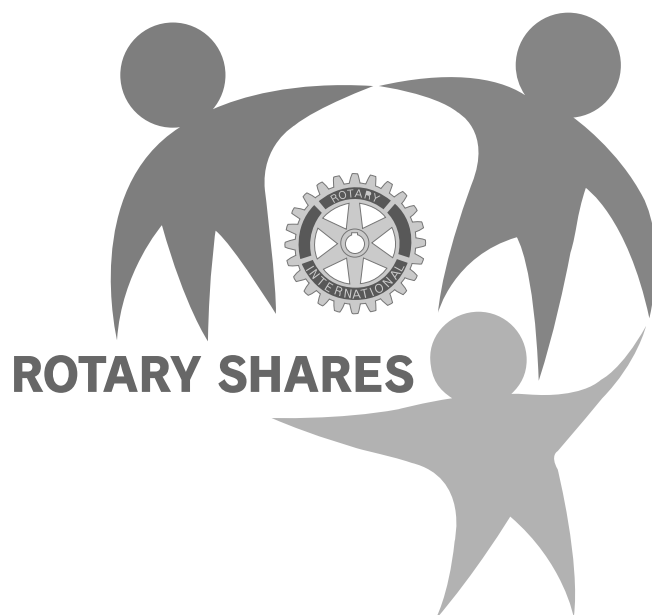
2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



国際ロータリー2510地区
2007-2008年度ガバナー **酒井 正人** MASATO SAKAI
〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階
TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512 E-mail:rid2510@nifty.com
URL:<http://www.ri2510.gr.jp/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

CONTENTS

酒井ガバナー挨拶	1
2007-2008年度WCS検証ツアー	4
WCS????Q&A	5
世界社会奉仕(WCS)とは	6
チェンマイ バイオガス事業	7
チェックダム事業	8
クリーンウォーター・クリーントイレ事業	9
第1グループIM報告	11
地区会員増強セミナー報告	12
ハイライトよねやま99	13
ロータリー財団寄付 / 米山寄付	15
訃報 / 新入会員の紹介	16
文庫通信(248号)	17
4月分出席報告	18
地区カレンダー / 例会の変更等について	19



WCSの事業を検証 特集

2007～2008年度国際ロータリー

第2510地区ガバナー 酒井 正 人

5月16日から21日までの6日間WCS事業の検証を行うため本年度事業実施クラブの方々とタイ国訪問をしましたので報告を兼ねて、この度のガバナー月信をWCSの特集と致しました。この機会に世界社会奉仕（World Community Service : WCS）をよりご理解いただければ幸いです。

ロータリーは職業奉仕を第一義としているのは周知のことですが、四大奉仕が示すように国際奉仕や社会奉仕も同等に重要でやりがいのあるロータリー活動であります。

2510地区のWCSはタイ、スリランカ、インドネシア、モンゴル等と水事業、保健衛生事業、教育事業を主として行っております。WCSは国際地域のニーズに合わせて、必要とするところに必要とする事業を行います。

私が今回WCSの検証ツアーに参加するきっかけとなったのはWCSの委員会報告に5万円ほどでタイ・チェンマイにダムを建設するとあったからです。私の認識不足で「不可能だろう」「何の役に立つのか」と思ったからであります。しかし、話を聞いてみますと、タイ北部は山岳地帯が多く、少数民族が点在して生活をしており、経済格差は言うにおよばず、生活用水（含む飲み水）は雨水を使っている状態です。また、乾季と雨季の差は大きく生活は著しく水に影響を受けています。雨季にはスコールで一気に山の斜面を雨水が流れ、山岳地方の民家は洪水の被害に遭い死者もでる状況です（山岳地方の低地に部落があるがそのためか高床式の住居が多く見られる）。大都市チェンマイも街の中心部を流れる川はこの影響を受け洪水で腰まで水に浸かることが有るようでした。国に災害防止と保水のためダムの建設を要求したのですが、それ相応の資金が必要で、それには至っていません。間々にならないのが現実でしょうか。そこで、タイ国王の発案で竹と石を使い高さ50cm、幅3m程度の小さな関を一つの沢に数十基、数百基と作ることで鉄砲水を防ぎ、地面に浸透させて山の保水力を高めようとするものでした。この話を聞いたとき自分の目で確かめてみたいと思ったからです。

5月16日成田、バンコックを経由して夕方、チェンマイに到着、翌朝（17日）から検証を行いました。検証の第一番目は伊達RCと第3360地区ランナ・チェンマイRCとの共同事業であるバイオガスプロジェクトでした。我々を乗せたバスはチェンマイ市内のタイ陸軍の教育学校に到着しミニタリーポリスのパトカーの先導をうけ施設の奥へと誘導されましたが、私には不可解であるため問いただすと、この施設内にバイオガス装置が設置されているとのことでした。その理由は施設から出るバイオガスの生産材料である残飯等の量が多いことは当然なのですが、この国は徴兵制をとっていて、経済格差の大きい地方から若者が大勢集まるからであり、2～3年の兵役を終えた若者は生まれ故郷へと帰り地元で技術を還元できるチャンスがあるからでした。装置の概略は地中に20名ほどが入る穴を掘りコンクリートでドーム上に作り、空間に残飯等を入れ、メタンガスを発生させ、それをエネルギーとして使用するという簡易なものですが、ガスコンロを1台は賄えるそうです。用済みの残飯等は肥料として畑に再利用しておりました。この引き渡し式典には在チェンマイ日本国総領事・横田順子氏も出席され、共に設備を検証しタイ国営放送TVの

取材を受けておりました。次の検証はチェックダムのため山の中へ入るので、横田順子総領事にお礼を申し上げ出発しようとしたら、私も行くので私の車に乗りなさいと、声をかけていただき、同乗させていただきました。車中、ロータリーやロータリーの奉仕活動について質問等がありましたが、慈善団体、寄付団体との認識もあるように感じ取れましたので、ここはとばかり、ロータリーの説明をさせていただきました。総領事も日本国がタイ国に行っている援助事業の資料を持ってきており、私に手渡してご教示してくださいましたので、その資料は早速WCS委員会に渡すこととしました。

さて、チェックダムプロジェクトはランナ・チェンマイRCと札幌東RC、千歳セントラルRC、静内RCとの共同事業として行われました。横田順子総領事から車中で「実は私はこのチェックダムを作るとき(着工時)参加した」と話されたのです。日本からの参加がなく、勿論2510地区の会員も現地には来ておりませんので、その代わりをしたとのことでした。話は続いて、工事は乾期に行ったので全く水は有りませんので消防車を使い、その後はランナ・チェンマイRCのメンバーと、地元住民、動員された学生によって水、セメント、鉄筋を担いで運び込んだとのことでした。

チェックダムは高さ約50cm、幅3～5mの小さなもので鉄筋と石とセメントで固められたものですが、十分な機能を果たしていました。私達の訪問したのは丁度雨季にあたりましたが、チェックダムには、ほどよく貯水され、現在のところ洪水による死者は出ていないとのことでした。

18日はチェンマイからバンコック、ウドンタニを経由してノンカイへの移動日になり、19日は早朝から3340地区ノンカイRCとの共同事業の検証を行いました。この地区には白老、札幌はまなす、留萌、札幌手稲、札幌南、新札幌、三石、札幌北、小樽南、登別、砂川RCがクリーンウォーター事業を札幌南RCがクリーントイレ事業を実施しました。(詳しくは出村知佳子地区WCS委員長の報告をご覧ください) 検証のためラオス国境近くに点在する集落をバスで移動する途中の景色には、どの家にも大きなタンクというか、水瓶が数個軒下に並べられているのが印象的でした。雨期に屋根を流れる雨水を貯めるためのものようです。雨水を生活用水や飲み水としているのが伺い知れます。集落の学校敷地内には高さ5m程の貯水タンクの下に小屋があり給水ポンプとステンレス製のフィルター方式の浄水装置が設置されていました。30m程度の地下水をくみ上げて浄化して飲料用としています。地下水は塩分が多く含まれていると、私は地元の人から報告を受けました。これで乾期も安心して、安全な水を飲むことが出来ると喜んでいました。これらの検証時は休日ではありましたが、児童の他、地元住民やお坊さん(タイではお坊さんは特別扱いで空港にも特別待合室が有るくらいです)が集まり「サワディー カー」「コップ クン クラップ」と手を合わせていたのが印象的でした。

20日は午前中にノンカイ県知事Chadej Musigavong氏を県庁舎に表敬訪問をしましたが、タイの一般国民のトイレ事情は劣悪であることを皆様ご存じのことと思いますが、特に知事からトイレとトイレの設置されている場所であるレストルームの持つ意味を強調され感謝の意を伝えられ、自分のレストルームとトイレを見てくれと、わざわざ知事室の知事専用の場所を案内して頂きました。知事はタイ語ではなく英語で話されたので、ご承知のように日本でトイレは便所を意味しますが、トイレは便器を意味し、便所はレストルームと表現するのが英語では一般的です。同日午後の便でウドンタニからバンコックを経由して夜の便で帰国しました。

この度の検証旅行そのものを検証してみたいと思います。

WCSの事業はクラブ単独でも実施することは可能だと思いますが、2510地区が地区として関与し、お手伝いをしているケースにつきましては①と②のケースがあります。

①クラブ50%、特別地区資金(WCS事業)より50%の同額の補助で事業を実施し、相手国クラブにも何割かの補助をお願いしている。(必ずパートナークラブが必要)

②複数のクラブが共同で支援をする場合、クラブ資金総計で50%、特別地区資金(WCS事業)より50%で行い、同じく相手国クラブにも何割かの補助をお願いしている。(必ずパートナークラブが必要)

この他にもありますので、詳しくはWCS委員会にお問い合わせ下さい。

チェックダム事業には各クラブの負担が5万円、バイオガス事業には10万円、クリーンウォーター事業には10万円、クリーントイレ事業には20万円程拠出しております。

今回の検証旅行には各自20万円から30万円の負担をして参加をいたしました。参加したクラブのある会長さんから参加するにあたってクラブ内で「参加費用をプロジェクトに回した方がより成果が上がり、大きな事業が出来るのではないか」と言われたそうです。実は私もそのように思った時期がありました。しかし、思い出して下さい。「ロータリーの仕事はお腹を空かした人に食事を施すことではない、共に食卓に招いて食事をする事だ」とWilfrid J. Wilkinson RI会長が言ったとお伝えしたはずですが。自分たちの成し遂げた事業の成果を間接的に聴いても、それなりの感動をもらうことしか出来ないのです。そして、ロータリーは慈善団体でも寄付団体でもないのです。国際地域社会が必要としているニーズを私達に手で、ロータリー以外にも伝え広めなければならぬ責務があるのです。それには“又聞き之又聞き”では感動は薄れることでしょう。私も現に参加し、在チェンマイ日本国総領事・横田順子氏にお逢いするまでは私達RI第2510地区のためにご尽力をいただいているとは全く知るよしもなかったのですから。私達のロータリーはニーズにあわせ社会への奉仕をしていかなければなりません。そのためには「Rotary Shares」のテーマが示すように喜びも苦しみも共有しなければなりません。

結びに今回のツアー途中、夕食までの僅かな時間を利用し、休む間もなくWCSのメンバーはオファーのあった、必要とされている支援事業の下見に出かけました。下見から帰ってきて、そっと耳打ちされた内容は人道的にも大変重要な問題だと思われることでありました。委員会として十分な検討や調査を終えていないようですので、ここではお知らせできないのが残念ですがメンバーは一生懸命その職分を果たしております。そして在チェンマイ日本国総領事・横田順子氏、視察に同行された第3340地区、3360地区ガバナーをはじめ地元クラブの会員、参加した2510地区の会員に感謝と敬意の念を表したいと思います。

2007 - 2008年度WCS検証ツアー 「ロータリーは分かち合いの心」

地区WCS委員長 出村 知佳子（札幌北RC）

はじめに

去る5月16～5月21日、酒井正人2510地区ガバナーを団長に32名のメンバーがWCS検証ツアーとしてタイ・チェンマイ、ノンカイを本年度WCS事業の検証に訪問をしました。現地では、3340地区、3360地区の皆様の大きな歓迎を受け、事業の検証へ現場を訪れ、地元の人々との交流をし、意義ある事業と親睦を分かち合い参加メンバー一同帰国致しました。

事業に御理解を頂き御参加頂きました、酒井正人ガバナーはじめメンバーの皆様、事業へ御支援を頂きましたクラブ皆様にWCS委員一同心より感謝申し上げます。

この場を御借りして、WCS事業とは？という事についても少しでも御伝えできれば委員一同大変嬉しく存じます。

今後共、WCS事業への御支援の程宜しく御願い申し上げます。



「ノンカイ県知事から水事業、トイレ事業についての感謝の言葉を受ける酒井正人2510地区ガバナー」



「メコン河をバックに、ノンカイRCメンバー、通訳補助ボランティアの学生さん達と」

WCS ? ? ? ? Q&A

Q1、どんな活動をするのですか？

A . 世界中の安全な水を確保できなかつたり、衛生的なトイレがなかつたり、教育の環境が整っていない子供達、人々等へ人道的な支援をしています。

我々の小さな支援が、地元の多くの子供達、人々へ多くの恩恵をもたらす事が出来ます。

Q2、現在2510地区内クラブでは具体的にどんな活動をしていますか？

A . * 水事業、(浄水システム事業、チェックダム事業) * トイレ衛生事業、(クリーントイレの建設)
* 復興支援教育整備支援事業、(小学校教育・災害環境支援事業、幼稚園復興支援遊具設置事業)
* 教育事業(黒板事業、移動図書館支援事業)

水事業、保健衛生事業、教育事業を中心に行っています。

Q3、現在2510地区内クラブではどのような国で事業をしていますか？

A . 本年度ではタイ、スリランカ、インドネシア、モンゴルにて実施致しました。

ロータリーのある国で、支援を必要としている国で行なうことが出来ます。



チェックダム視察

Q4、ロータリーのある国で、各クラブにて世界中の何処でも事業を行えますか？

A . 支援が必要な国において出来ます。ただし相手国のパートナーロータリークラブが必要です。このパートナークラブは大変重要な役割をしてくれます。

事業実施の管理、予算の管理、完成の報告、レポート等を担ってくれます。

このクラブと蜜にコミュニケーションを取り、事業実施へのアドバイス、手伝いをしていく事が、WCS事業成功において大変重要です。

Q5、相手ロータリーや支援実施国がない場合、クラブでWCS事業に参加できないでしょうか？

A．海外に姉妹クラブ、友好クラブがある場合は是非共に事業の実施を検討してみてください。ない場合には、地区WCS委員会で、いくつかの事業案、相手国、クラブのプランがありますのでお問い合わせ下さい。また、RIにて支援を必要としている国、クラブの事業案のリストもありますので、これを参照にまずはメール等でコンタクトを取る事から始めてみる事も可能です。

Q6、国内、海外の姉妹、友好クラブと共同でWCS事業をするのは可能ですか。

A．はい、可能です。2つ以上の国のロータリークラブが共に事業を実施し、そのうち1つが事業実施国である事が基本となります。

世界社会奉仕（WCS）とは？

地区WCS副委員長 志比川 武（蘭越RC）

世界社会奉仕（WCS）とは？ワールド・コミュニティ・サービスの略であります。WCSプログラムは、2つ以上のクラブによる海外での社会奉仕活動で、ロータリアンは、この活動を通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして物質的、技術的、専門的援助を通じて、国際理解と親善を推進する。またWCSプログラムの目標として、援助を必要としている人々の生活の質を、ロータリーの国際奉仕活動を通して高めることが出来、支援したロータリアン自身も、これを通して大きな喜びを得る事ができるのです。



チェックダム視察

チェンマイ バイオガス事業

伊達RC - 3360地区ランナ・チェンマイRC (2008年5月17日検証)

地区WCS委員 東 晃平 (伊達RC)

伊達クラブからは新井田会長以下4名が参加しチェンマイ地区におけるバイオガス事業の検証を行いました。バイオガスとは家畜の糞尿、食べ物の残飯等を発酵させメタンガスを生成する、化石燃料に代替す



「バイオ装置に、食べ残しを投入し、燃料を作る」

る燃料として今注目されているエネルギー資源です。この度は現地の中学校の給食の調理燃料として利用する事業で、非常に簡易な施設ではありますが、環境への負荷も全くなく非常に利便性がある、コストも安価であると大変喜ばれておりました。

当日はこのシステムを習得するために地域内外から勉強に来ていた学生も加わって、歓迎のセレモニーが開催されました。

ここで学習した学生さん達はこのシステムを地元の集落に持

ち帰り、今後の生活への力とする事もできます。現地のロータリアンはもとより地域住民との交流を通してこの事業のすばらしさを改めて確信したところです。

今後もさらなる交流の礎として、この事業が継続されることを期待するところです。



「バイオガス事業(伊達RC)について、タイ国営放送より取材をつける伊達RCの新井田会長」

「バイオガスの装置の説明と、伊達RC、3360地区ランナ・チェンマイクラブの名前が入った看板」



「バイオガスの生成後の堆肥で作ったバナナを見て効果を確認する酒井ガバナー、伊達RCの新井田会長、菅会員」

チェックダム事業「この小さな関のもつ大きなパワー」

(ランナ・チェンマイRC - 札幌東RC、千歳セントラルRC、静内RC 5月17日検証)

地区WCS委員 田 口 廣 (千歳セントラルRC)



「ツアー参加者32名全員で、完成したチェックダムの検証を行う。まるでジャングルのよう」

2007 - 2008WCSタイ・チェンマイ事業検証

(2008年5月17日Mae Hia Nai県)

札幌東RCの米谷WCS委員長と共に行った千歳セントラルRCが支援するチェックダム事業の視察では、5月です。雨期に入っていて、ダムのある山岳地帯は湿度も高く足元も滑りやすくなっていました。以前は雨季の時期になると、洪水により100名以上の方が亡くなっていましたが、昨年からは雨季の際の大きな洪水水害もなく、

多くの人命が救われたという報告に、このチェックダムの大きな成果があったと実感しました。

今回2510地区支援の(札幌東RC、千歳セントラルRC、静内RC)の完成セレモニーと視察に、3360地区パートナークラブ、ランナチェンマイRCの皆さん、当地区30名のメンバーに参加していただきまして、大変ご苦勞様でした。

また、チェンマイ日本総領事の横田順子様と同席を頂き、国境を越えた社会奉仕に有効に繁栄したと思われます。

今回私は2年続けてこの検証ツアーに参加させていただき、ロータリーを通じてタイの皆様と更なる友好が深まる事を確信しました。この美しいチェンマイに降る雨が大地を潤し人々の生活に恵みの雨となる事を祈念いたします。



「一つ一つは小さいけれど、多くの人命を救う雨季で水かさの増したチェックダム」



「チェックダム入口の看板前にて、酒井ガバナー、横田順子チェンマイ日本総領事と共に完成を祝う札幌東RCの米谷委員長、千歳セントラルRCの田口委員」



「自身のクラブの事業の検証を行う千歳セントラルRCの坂井会員、田口委員」

クリーンウォーター事業、クリーントイレ事業(2008年5月18日検証)

ノンカイ県におけるクリーンウォーター事業、クリーントイレ事業の完成セレモニーを8つの支援先学校にて行いました。

タイ東北地区ではタイ国内でも特に水源、水質の確保に大きな問題を抱えています。安全な水の確保、衛生整備は子供達、村人の育成、健康維持は重要な課題です。

今年度2510地区クラブの御支援にて、11の小中学校にクリーンウォーターシステムの設置、1校にクリーン・トイレの設置が完了致しました。このうち御参加頂いたクラブ支援先の8校へセレモニー検証に為訪問しました。当日は祝日にもかかわらず、地元の教育委員会、先生方、子供達の大きな歓迎、感謝の言葉を受けました。時間の都合で今回訪問できなかった4校においても、データで検証を終え、今年度実施の全ての検証を終えました。

このきれいな水、トイレによる子供達の健やかな成長を祈り、支援クラブ様、参加クラブ様に心より感謝申し上げます。

地区WCS委員長 出村 知佳子(札幌北RC)

* * 2007 - 2008年度 ノンカイ地区WCS事業(水事業、トイレ事業 完了) * *

パートナ - クラブ 3340地区 ノンカイロータリークラブ

- 1 Kham pong peng khotisarn withaya 学校
(白老RC 生徒数 69人 集落人口 1,145人)
- 2 Chan tra ram 学校(水事業、トイレ事業実施)
(札幌はななすRC 生徒数 109人 集落人口 1,274人)
- 3 Bann Na Klong 学校
(留萌RC 生徒数 115人 集落人口 2,231人)
- 4 Bann Bird Wittaya 学校
(札幌手稲RC 生徒数 232人 集落人口 3,040人)
- 5 Bann Nong Bua Ngon 学校
(札幌南RC 生徒数 270人 集落人口 1,331人)
- 6 Nong Dang Shang Pra Try Pattana 学校
(新札幌RC、三石RC 生徒数 109人 集落人口 751人)



「完成した札幌はななすRCクリーントイレ前で、子供達、先生方と。中山国際奉仕委員長、佐藤会員、大石会員」



「完成したクリーンウォーター前で子供達と共に乾杯をする新札幌RCの石黒会長、三石RCの山田会長」

7 Bann Na Kor 学校
 (札幌北RC 生徒数 131人 集落人口 1,098人)

8 Bann Somsanook School
 (札幌南RC 生徒数 88人 集落人口 599人)

9 Bann Sang 学校
 (小樽南RC 生徒数 75人 集落人口 987人)

10 Chanthana wanrot 学校
 (登別RC 生徒数 145人 集落人口 664人)

11 Bann Nong Bua Wittaya School
 (砂川RC 生徒数 130人 集落人口 1,420人)



「事業実施校（前年度分も含む）を2つ訪問し、学校関係者から大歓迎をうける札幌南RCのクリステンセン国際奉仕委員長」



「完成した手稲RC支援クリーンウォーターシステム前で2510、3340両ガバナーと共に。札幌手稲RCの高橋会長、小山副会長、三戸国際奉仕委員長、福尾会長エレクト、渡邊会員」

第1グループIM報告 語りあおう分かちあいの心

ガバナー補佐（第1グループ担当）

舟橋 隆 宏（羽幌RC）

平成20年5月11日（日）、羽幌サンセットホテルに於いて、羽幌ロータリークラブをホストクラブに第1グループの合同研修・交流会『語りあおう分かちあいの心』が深川、妹背牛、留萌、小平、羽幌クラブの多数の会員参加のもと開催されました。

舟橋ガバナー補佐の点鐘で始まり、石川実行委員長の挨拶、有沢会長の歓迎の挨拶の後、研修に入りました。各クラブの代表者より「特色のある委員会活動」と題して事例発表をしてもらいました。発表後、ガバナー補佐より「厳しい地域事情の中、これからも会員の減少が続いて行く。そんな事を頭に入れながら今後とも地域にあった、背伸びしない委員会活動をして下さい」との講評がありました。



講師：金田 幸次郎 氏

引き続き「羽幌みんなで作る自然空間協議会」代表の金田幸太郎氏の基調講演「子供達へ伝えるもの」に入りました。

氏の「環境破壊が叫ばれている現在、環境問題の解決は、ひとりひとりの実践によるところが大きい。私達は環境を創造、復元していくプロセスの重要性について学びながら、行政に頼らず地域住民自らが森と川、そしてその先につながる海、自然環境を見つめていく為、ビオトープをつくりたいと考えた」との話に参加会員一同真剣に耳を傾けていました。

講演の後懇親会になりました。会場は同じ場所でビンゴなどをしながら楽しい時間を過ごしました。最後に参加者全員で「手に手つないで」を合唱して閉会となりました。



国際ロータリー第2510地区2008～2009年度 地区会員増強セミナー報告 2008年6月1日開催

- 塩釜から桑原次期国際ロータリー地域会員組織コーディネーターを迎えて -
(会員増強は神頼み、仏様頼みか？ いやAsk Ask Askである。)

矢橋ガバナー・エレクト、酒井ガバナーの挨拶の後、講師である次期国際ロータリー地域会員組織コーディネーター(RRIMC)である第2520地区PG桑原茂氏の紹介が次期地区研修委員の塚原PGにより行われた。平易な物言いではあるが、大変力強い桑原氏の話しぶりで、まずは、ロータリーの現状分析がなされた。



桑原 茂次期RRIMC

日本のロータリーの特徴の分析、そして我々2510地区が属するゾーン1が他のゾーンと比べてどのような特徴を有するかと話が進んでいった。世界的に見て、日本は(1)50歳以下、特に30歳以下の会員が圧倒的に少ない。(2)女性会員の割合がこれまた世界の4分の1から5分の1である。女性会員が参加することによる多くのメリットを挙げ、今後の会員増強の切り札であることを強調された。ちなみに今回のセミナーの参加者約70名の内女性会員は1名であった。

ポール・ハリスが友人と語らって4人で始めたロータリーであるが、その中の2人は後に退会しており、会員維持の問題は、ロータリーの歴史そのものであるらしい。3年以内の退会が最も多く、入会時のロータリーに関する情報の提供の不十分さによるロータリーへの期待と現実のギャップも一因である。

会員の死亡退会後の後継者の入会が意外に苦戦している。会員は日ごろから月信、週報を自宅に持って帰り、家族の共通の話題とすることで、後継者にロータリーの何たるかを理解してもらうことの大切さが紹介された。何れにせよ会員維持、会員増強に特效薬は無いらしい。



それでは神頼み、仏様頼みか？ というと、いやロータリアンとしては、Ask Ask Askであると桑原氏は主張されたのである。これは、まずは **聞いてみる。勧めてみる。誘ってみる。** と言うことらしい。

次年度の国際ロータリーの目標は、(1)10%会員増強、(2)地区で2つの新クラブの設立である。目標は高く掲げ、桑原氏の掛け声に参加者全員で声高らかにAsk Ask Askと唱和して氏の講演を終わった。

若干の休憩後、地区増強委員長丸山PGの講演を拝聴した。

桑原氏の1時間に及ぶ熱い講演の後であり少々疲れ気味の会員であったが、お風邪を召されているという丸山PGは声を囁らしながらの巧みな話術に、爆笑の会場は、和やかな雰囲気にもまれ30分も瞬間に終了となった。多くの有益な話を承ったが、その中でやはり基本は、**「増強委員長、そしてクラブ会長は、笑う、いつも笑顔で」**ということであった。これで例会が和やかになる。楽しい、和やかな例会を持つことこそが会員増強、会員維持の基本であると強調された。

最後に渡邊ガバナー・ノミニーによる挨拶で地区会員増強セミナーを定刻に終了した。

北海道厚生年金会館にて

(文責：次期地区幹事 上出 利光)

ハイライトよねやま

(財)ロータリー米山記念奨学会
2008年5月14日発行

1. 寄付金速報 再び前年同期比より増加

4月までの寄付金は、前年同期に比べて0.4%増、約470万円の増加です。普通寄付金が0.7%減、特別寄付金は0.9%増と再び増加へと転じました。4～6月は毎年、クラブ創立記念特別寄付が多くなります。4月も25クラブから合計539万円のご寄付をいただきました。10万円以上ご寄付をされたクラブには記念の盾をお贈りしておりますので、是非ともご協力ください。

また4月末時点で普通寄付の下期分をまだ納めていないクラブが48クラブあります。(前年度66クラブ)今年度も残りあと1カ月半です。地区関係者の方々もご協力賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

【速報】 5月12日、都内で開催された第1回ロータリー日台親善会議で、台湾から参加した蔡衍榮氏(台北仁愛RC)から300万円の特別寄付金をいただきました。また、同日に開催された東京白金RC(旧東京五反田RC)の創立15周年記念式典において、奇しくも同じ300万円がクラブ創立記念特別寄付金として贈られました。心より感謝申し上げます。

2. 米山奨学生の博士号取得状況

今年も卒業式を終えた米山学友から、博士の学位を取得したとの嬉しい報告が届いています。2007学年度(2007年4月～2008年3月)に博士号を取得した米山学友は58人、これまでの累計は3,051人です(5月9日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計をお贈りします。世話クラブ・カウンセラーの皆様からも是非ご報告いただきますようお願い申し上げます。

米山奨学生・学友が博士号を取得したら「学位記」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXしてください(FAX: 03-3578-8281)。

既に学友となっている方も対象です。

※ただし、国内のみの発送となります。

3. 日本の民間助成財団で今年も第1位に!

(財)助成財団センターが毎年実施している「日本の助成財団の現状—2007年度調査結果—」が今年も発表されました。

ロータリー米山記念奨学会は「助成等事業費上位100財団」で第5位と、昨年の3位から後退したものの、民間財団では今年も第1位となっています。

■資料提供 (財)助成財団センター<http://www.jfc.or.jp/>

■助成等事業費上位100財団リストhttp://www.jfc.or.jp/bunseki/rank_grant.html

4. ラオスの子どもたちの読書推進活動に貢献 チャンタソン・インタヴォンさん

米山学友のチャンタソン・インタヴォンさん(ラオス/1983-86年/東京銀座RC)は、26年前に「ラオスの子供に絵本を送る会」を立ち上げました。現在はNPO法人「ラオスのこども」となり、ラオスでの絵本や児童書の出版、学校図書室の整備、教員や教員を目指す学生への研修を通じた読書習慣の普及など

に取り組んでいます。その活動はラオスの教育省をも動かし、教員養成学校のカリキュラムに読書推進活動が導入されるまでになっています。

このたび、「ラオスのこども」の長年にわたる活動が国際的に認められ、青少年の読書推進活動に貢献している市民団体に贈られるIBBY・朝日国際児童図書普及賞を受賞しました。授与式は、9月9日、デンマーク・コペンハーゲンで行われます。

「この賞をいただくことができたのは、多くの日本人とラオス人のスタッフや支援者の皆さんのすばらしい協力のお陰です。とても光栄に思います」とチャンタソンさん。米山奨学生時代、東京銀座RCで、日本の経済界のトップの方々と接し、事業経営精神や奉仕精神を学んだことが、現在の活動に大いに役立っていると言います。今後の抱負については、次のように語ってくれました。

「これまでいろいろな活動に取り組んできましたが、NGOの活動だけでは全国の状況を改善することはできませんので、これからのことを一緒に考えていける次世代のリーダー育成に、残りの人生を賭けて取り組みたいと思っています。既在の教育機関には期待できないため、自分で私立学校を作って、ラオスの地方の若者、特に少数民族の若者を教育したいと考えています。彼らには、自分たちのアイデンティティを形成させ、自分たちの村や民族の将来を考えてもらえるように教育するつもりです。今まで、通訳として働いてコツコツ貯めたお金でヴィエンチャン郊外に学校用地を準備しましたが、私一人では建物を建てる資金がなくてなかなか始められませんので、ぜひとも皆さんにご協力いただければと思います」

● 「ラオスのこども」の活動については、こちらをご覧ください⇒<http://deknoylao.org/>

5. ミャンマーのサイクロン、四川省の大地震へのお見舞い

2日夜からミャンマーを直撃した大型サイクロンにより、最大都市ヤンゴン（旧首都）をはじめとする各地では深刻な状況が続いています。事務局では、ミャンマー出身の米山奨学生・学友101人のうち、メールアドレスが登録されている70人へお見舞いのメールを発信しました。12日現在、18人から感謝を込めた返信がありましたが、中には「現地と連絡がとれない」と不安をのぞかせる内容のメールもありました。ミャンマー在住学友からの応答はまだありません。

また、12日に中国・四川省で発生した大地震についても、同省出身あるいは在住の米山奨学生と学友69人のうち、メールアドレスが登録されている53人へ安否確認のメールを出しました。

被災地出身、もしくは在住する米山奨学生・学友がいましたら、どうぞ温かい励ましの言葉をかけて下さいますようお願いいたします。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

大口寄付者

札幌東RC 塚原 房樹 会員 4月15日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂 川RC 瓜 俊雄 会員 (1回) 4月18日

美 唄RC 円子 保 会員 (1回) 4月11日

札幌東RC 奥貫 一之 会員 (8回) 4月18日

札幌東RC 松宮 國彦 会員 (4回) 4月30日

札幌東RC 関堂 勝幸 会員 (3回) 4月30日

札幌幌南RC 羽部 大仁 会員 (4回) 4月18日

札幌幌南RC 鷹木 光雄 会員 (1回) 4月30日

札幌南RC 朝妻 邦雄 会員 (1回) 4月11日

札幌南RC 金井 英明 会員 (1回) 4月11日

札幌南RC 片山 英男 会員 (1回) 4月11日

札幌南RC 小林 昌志 会員 (2回) 4月11日

恵 庭RC 日下 健三 会員 (1回) 4月11日

函館亀田RC 柴田 明知 会員 (1回) 3月28日

函館亀田RC 堀 好夫 会員 (1回) 3月28日

函館亀田RC 寺田 真三 会員 (1回) 3月28日

函館亀田RC 西川 忠弘 会員 (1回) 3月28日

函館亀田RC 鳴海 昭憲 会員 (1回) 3月28日

函館五稜郭RC 光銭 裕二 会員 (6回) 4月25日

ポール・ハリス・フェロー

滝 川RC 坂田 秀昭 会員 4月30日

江 別 西RC 野村 義次 会員 4月25日

岩 見 沢RC 松村 亮哉 会員 4月30日

岩 内RC 井戸 幸夫 会員 4月30日

函館亀田RC 遠藤美根雄 会員 4月25日

函館亀田RC 井上 司 会員 4月25日

函館亀田RC 坂本 幸夫 会員 4月25日

函館亀田RC 土永 均 会員 4月25日

苫 小 牧RC 市町 峰行 会員 4月11日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌あけぼのRC 笠原 嘉郎 会員 (1回) 4月25日

札幌南RC 小林 昌志 会員 (8回) 4月23日

小樽南RC 廣瀬 保男 会員 (2回) 4月28日

小樽南RC 笥 無関 会員 (1回) 4月28日

小樽南RC 中嶋 宏 会員 (2回) 4月28日

小樽南RC 大倉 俊一 会員 (1回) 4月28日

小樽南RC 山田 幸雄 会員 (1回) 4月28日

函 館RC 加藤健太郎 会員 (5回) 4月10日

七 飯RC 上野 一義 会員 (4回) 4月16日

北 斗RC 渡邊 眷龍 会員 (1回) 4月1日

功労クラブ

札幌南RC 33回 4月23日

北 斗RC 1回 4月1日

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



ロータリー歴
1964年1月 富良野RC入会
(9年間在籍)
1973年4月 留萌RC入会
1983~84年度 クラブ会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル(2回)

澤井定七会員(留萌RC)

2008年3月17日逝去 77歳



ロータリー歴
2000年2月 入会
2007年 理事その他各委員長

片石哲男会員(恵庭RC)

2008年4月23日逝去 49歳



ロータリー歴
1978年7月 入会
1983~84年度 クラブ幹事
1990~91年度 クラブ会長
その他理事および各委員長を歴任

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

鳴海馨誠会員(岩内RC)

2008年4月14日逝去 73歳



ロータリー歴
1978年3月 入会
1991-92年度 親睦活動委員長
1995-96年度 SAA委員長
1999-2000年度 職業奉仕委員長
2002-03年度 ローターアクト委員長
2003-04年度 新世代委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

喜多清皓会員(千歳RC)

2008年5月13日逝去 73歳

新入会員の紹介

(敬称略)



留萌RC

奥 俊信

07年7月4日入会
製麺卸売



留萌RC

宮尾幸之助

07年7月4日入会
乳酸菌飲料卸売



留萌RC

久木 隆生

07年7月4日入会
情報サービス



留萌RC

松崎 裕二

08年5月1日入会
信用金庫



小樽RC

清河 智英

08年3月31日入会
地方商業銀行



小樽RC

三浦 政彦

08年5月13日入会
都市ガス供給



小樽RC

新谷 聖

08年6月3日入会
電話通信事業



小平RC

伊藤 義晴

08年4月1日入会
信用金庫



苫小牧北RC

新井田俊憲

08年4月22日入会
損害保険



岩見沢東RC

玉山 博士

08年4月15日入会
板金工業業

新入会員の紹介

(敬称略)



岩見沢RC
古御堂 弘
08年4月15日入会
税理士



岩見沢RC
南雲 啓至
08年4月25日入会
生命保険



滝川RC
鎌仲 政光
08年5月1日入会
建設業



砂川RC
山崎 晃
08年5月14日入会
電気事業



新札幌RC
武田 充広
08年4月2日入会
飲食業



新札幌RC
関山 伸男
08年4月23日入会
消化器科医



千歳RC
井上 勝訓
08年4月10日入会
ビール製造



千歳RC
尾崎伊智朗
08年4月10日入会
電力事業



千歳RC
沼田 常好
08年4月10日入会
石油製品



千歳RC
下山 徹哉
08年4月17日入会
ホテル



千歳RC
夏山 健治
08年5月29日入会
遊技場

文庫通信(248号)

先輩のロータリー観(3)

「心の温かさこそロータリーの推進力」	松本 兼二郎	1973	4p
「どうしてあなたはロータリアンになっているのですか」	中山 義之	1997	6p(横浜東RC週報)
「ロータリーよ、いずこへ?」	村田 善明	1984	4p
「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神とロータリーの理念」	濱川 金兵衛	1986	4p
「ロータリーの精神を振るい起こすには」	前原 勝樹	1974	4p
「職業奉仕のお話」	神守 源一郎	1981	18p
「良き市民とは.....>その心得十カ條」	伊藤次郎左衛門編輯	-	12p
「四つのテスト」	刈谷 RC	1998	9p

[上記申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

6月のロータリーレート:1ドル=102円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.4.30	増 減	内女性	
1	深 川	4	36	35	-1	2	82.07
	羽 幌	4	49	48	-1	1	84.58
	妹 背 牛	4	10	9	-1	0	83.33
	小 平	4	15	15	0	0	75.00
	留 萌	4	51	47	-4	0	83.41
	小 計		161	154	-7	3	81.68
2	赤 平	4	30	30	0	1	92.30
	芦 別	4	43	45	2	0	88.75
	砂 川	5	53	52	-1	0	90.24
	滝 川	4	99	98	-1	0	79.50
	小 計		225	225	0	1	87.70
3	美 唄	4	40	40	0	0	89.70
	江 別	4	34	33	-1	1	85.44
	江 別 西	4	30	27	-3	3	91.06
	岩 見 沢	4	90	89	-1	0	91.65
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	5	90.70
	栗 沢	4	23	24	1	1	96.68
	栗 山	4	32	28	-4	2	96.96
	当 別	4	34	34	0	0	81.62
	小 計		318	311	-7	12	90.48
4	札 幌	5	123	125	2	0	97.80
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	26	25	-1	4	69.81
	札 幌 北	3	41	44	3	6	93.02
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	71.98
	札 幌 西	4	62	60	-2	4	92.11
	札 幌 西 北	4	43	43	0	5	93.59
	札 幌 手 稲	4	35	35	0	1	97.15
	小 計		399	401	2	21	89.43
5	札 幌 東	4	108	122	14	0	99.12
	札 幌 清 田	3	23	18	-5	4	100.00
	札 幌 幌 南	4	68	67	-1	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	35	35	0	3	94.83
	札 幌 南	4	87	95	8	0	96.34
	札幌大通公園	4	10	11	1	2	79.55
	札幌セントラル	4	18	15	-3	6	65.00
	新 札 幌	4	31	34	3	3	95.97
	小 計		380	397	17	18	91.35
6	岩 内	3	24	21	-3	0	75.51
	倶 知 安	5	49	50	1	4	77.00
	小 樽	4	66	69	3	0	80.16
	小 樽 南	4	75	72	-3	0	90.44
	小 樽 銭 函	4	22	21	-1	2	82.10
	蘭 越	4	11	11	0	0	86.35
	余 市	4	38	42	4	5	88.05
	小 計		285	286	1	11	82.80

4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,861人
当月末会員数(女性)	2,898人(98人)
増加会員数	37人
当月平均出席率	86.70%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			07.7.1	08.4.30	増 減	内女性	
7	千 歳	4	64	68	4	3	83.14
	千歳セントラル	3	29	33	4	1	85.70
	恵 庭	4	40	42	2	0	87.82
	北 広 島	4	17	17	0	0	86.75
	長 沼	4	18	19	1	3	78.95
	由 仁	4	12	10	-2	0	91.67
	小 計		180	189	9	7	85.67
8	え り も	4	22	21	-1	0	92.86
	三 石	4	15	16	1	1	98.40
	様 似	3	18	20	2	1	86.67
	静 内	5	75	78	3	1	100.00
	浦 河	4	33	33	0	2	92.42
	小 計		163	168	5	5	94.07
	9	伊 達	3	53	55	2	0
室 蘭		4	46	49	3	0	97.92
室 蘭 東		4	44	45	1	0	95.20
室 蘭 北		4	35	35	0	2	100.00
登 別		4	32	32	0	2	84.38
洞 爺 湖		4	9	10	1	0	95.00
小 計			219	226	7	4	91.48
10	函 館	4	89	87	-2	0	78.36
	函 館 亀 田	3	43	45	2	2	96.21
	森	4	32	35	3	0	75.00
	七 飯	4	16	17	1	0	70.00
	長 万 部	4	8	10	2	0	87.50
	函館セントラル	4	28	26	-2	1	62.35
	小 計		216	220	4	3	78.24
11	江 差	4	18	19	1	1	59.20
	函 館 五 稜 郭	4	61	59	-2	0	100.00
	函 館 東	4	43	45	2	4	84.55
	函 館 北	4	29	31	2	0	88.80
	北 斗	4	20	20	0	2	70.00
	松 前	4	5	5	0	0	80.00
	小 計		176	179	3	7	80.43
12	白 老	4	25	25	0	0	85.00
	苫 小 牧	4	53	55	2	2	78.87
	苫 小 牧 東	4	28	28	0	2	82.14
	苫 小 牧 北	4	33	34	1	2	88.86
	小 計		139	142	3	6	83.72
合 計		2,861	2,898	37	98	86.70	

※沢RCの3日出席率を95.60%に訂正下さい。3日の当地区平均出席率を85.50%に訂正します。

地区カレンダー(6月)

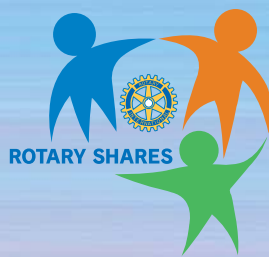
6月 ローター親睦活動月間			
1(日)	2008-09地区会員増強セミナー(札幌)	16(月)	
2(月)		17(火)	
3(火)		18(水)	
4(水)		19(木)	
5(木)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会(東京)	20(金)	
6(金)		21(土)	~22(日)ローターアクト地区年次大会(函館)
7(土)	札幌モーニングRC創立20周年記念式典(札幌)	22(日)	
8(日)	新旧ガバナー補佐会議・新旧委員長合同会議 (札幌)	23(月)	
9(月)	第18回JGFR北海道大会(小樽)	24(火)	
10(火)		25(水)	
11(水)		26(木)	
12(木)		27(金)	
13(金)		28(土)	インターアクト地区年次大会(登別)
14(土)		29(日)	
15(日)	~18(水)国際大会(米国・ロサンゼルス)	30(月)	酒井ガバナー年度終了

前号でローターアクト地区年次大会を赤平とお知らせ致しましたが、正しくは函館です。

例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

- 砂川RC** 6月18日(水)夜間例会 18:30~ 場所:砂川パークホテル
6月25日(水)休会(定款第5条第1節により)
- 江別西RC** 6月24日(火)さよなら夜間例会 18:00~ 場所:マキシドルパ
- 岩見沢東RC** 6月10日(火)の例会を下記に変更
6月8日(日)創立25周年記念事業・サッカー教室 場所:赤レンガホール
6月17日(火)例会時間の変更 12:30~
6月24日(火)例会時間の変更 18:00~
- 岩内RC** 6月12日(木)夜間例会「新旧理事・役員激励慰労会」18:30点鐘
場所:松尾ジンギスカン
- 室蘭RC** 6月12日(木)の例会を6月8日(日)に変更
6月19日(木)夜間例会 18:00~
- 室蘭北RC** 6月24日(火)夜間例会 18:30~ 場所:ホテルサンルート室蘭
- 苫小牧RC** 6月27日(金)最終夜間例会 18:00~ 場所:グランドホテルニュー王子

酒井ガバナー事務所は6月30日の年度終了後、引き続き残務整理のため、2008-09年度ガバナー事務所内で9月30日まで業務を行います



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510